

## 天塩町地域おこし協力隊 2019年1月～3月活動報告 地域プロデューサー 久保 綾香

1月～3月は大きく分けて以下の5つの活動を行った。

1. ダンス指導
2. マードック大学の観光学研修におけるフォローアップ
3. イベント等の実施・実施支援
4. イベント・セミナー・研修等を通じた情報収集
5. その他

各項目の具体的な内容については以下の通り。

### 1. ダンス指導

1月から3月にかけて、天塩町ダンス教室や天塩高校にてダンス指導を行った。

#### (1) ヒップホップダンス教室

実施したダンス教室は以下の通り。

- キッズクラス (1/16, 2/18, 3/12)
- 初級クラス (1/21, 2/20, 3/18)
- 外部講師による Jazz ワークショップ (2/6)
- Lockin' ワークショップ (3/6)

これまで「キッズ」「エクササイズ」「初級」の3つのクラスを実施してきたが、参加人数の状況から、1月より「キッズ」と「初級」の2クラスへと変更した。不定期で実施するワークショップとして「Jazz」と「Lockin'」クラスを開催した。Jazz ワークショップでは、ジャズダンスを専門に経験してきた天塩町在住の女性に講師となって頂き実施した。



1月16日実施のキッズクラス



2月20日実施の初級クラス

#### (2) 天塩高校の体育の授業におけるダンス指導

2018年11月より引き続き、天塩高校の体育の授業において、2年生と1年生の女子生徒を対象にダンス指導を実施した。当初の予定通り3月下旬まで実施し、3月20日実施のダン

ス発表会にて終了した。

生徒のグループ毎のダンス発表では、それぞれのグループに大いに創意工夫が感じられ、グループワークを行ううえでの生徒の協調性や前向きさなども感じ取れた。天塩高校でのダンス指導の機会を提案して下さった方や受け入れて下さった方々には大変感謝している。

## 2. マードック大学の観光学研修におけるフォローアップ

オーストラリアのマードック大学の学生が7月に天塩町に来訪し実施した観光学研修に関して、学生らが作成した研究成果報告書の和訳が完了し、天塩町ホームページにて閲覧可能となった。研修に参加した学生らは2つのグループに分かれて報告書を作成し、それぞれ異なる観点から天塩町に関する研究調査結果を提示し、今後実施すべき観光開発戦略の提案を行った。以下のURL（天塩町ホームページ）より閲覧・ダウンロード可能である。

<<http://www.teshiotown.hokkaido.jp/?p=17608>>

## 3. イベント等の実施・実施支援

天塩町内外で実施された以下のイベント等の実施・実施支援を行った。

- こどもひろば@てしお温泉夕映 2F コワーキングスペース (1/20) 【実施】
- 道の駅（に展示する）ランタン作りワークショップ@天塩町社会福祉会館 2F 講習室 (2/9) 【実施支援】
- 筑波大学 中高大連携ワークショップ@天塩中学校 (2/15-16) 【実施支援】



こどもひろば開催の様子



ランタン作りワークショップで作成したランタン

1月20日に開催したこどもひろばは、これまで「町内で小さな子どもが遊べる場所が少ない」という話を町内の親御さんたちから多く聞く機会があったことから、子どもが自由に遊べる空間をつくりたいと思い発案・開催に至った。イベントでは、小さな子どもが楽しめるおもちゃと安心して遊べるジョイントマットを用意し、自由に遊べるスペースを提供した。また、自由に参加できる工作（ちぎり絵）や運動（ダンス）などのアクティビティも併せて実施した。自由に遊べるスペースと自由参加のアクティビティを組み合わせることで、様々な年齢の子どもが自分自身の興味・関心に沿った遊び方や時間の過ごし方ができたのではないかと考える。前述のアクティビティに加え、12月に天塩町公認インスタグラマーのナヲ氏から寄贈頂いた木製遊具のお披露目会とナヲ氏からのメッセージ動画の上映も行った。今回、おもちゃやジョイントマットは普段ふれあいセンターで使用されているものを借り

ることができ、お陰様でこのような機会をつくることができた。常設の子ども向けスペースがあれば一番良いが、このように「資産（例えば物や場所、技術など）」を「シェア（共有）」することで、現在ある資産を有効活用し、それを通じて新しいサービスを生み出すこともできるのだということを改めて感じた。

#### 4. イベント・セミナー・研修等を通じた情報収集

参加したイベントやセミナー、研修等は以下の通り。

- 第5回 地域おこし協力隊全国サミット@ベルサール渋谷ガーデン（2/24）
- きた北海道協力隊ネットワーク（KKN） 地域おこし協力隊研修会@上砂川シェアハウス（3/5-6）
- 幌延町地域おこし協力隊 活動報告会@JR 幌延駅（3/25）

第5回地域おこし協力隊全国サミットは、地域おこし協力隊員や隊員 OB・OG からの学びや交流、活動発表の場を設けるとともに、地域おこし協力隊の効果的な情報発信、都市部の住民や自治体関係者の地域おこし協力隊制度に関する理解、興味、関心を高めることを目的として開催された。くまモンの生みの親である（株）good design company の水野氏と熊本県東京事務所長の成尾氏とのトークセッションでは、くまモンビジネスの成功のポイントなどについて知ることができ、大変参考になった。パネルディスカッションは「災害復興と地域おこし協力隊」をテーマとした内容となっており、協力隊の存在やそのあり方について改めて考える機会となった。

KKN 地域おこし協力隊研修会は、久保が 2018 年 6 月に参加した小平町での地域おこし協力隊研修会と同様の、KKN が定期的で開催する研修会である。今回の研修においては、参加者それぞれの「卒業」に向けて、具体的にどのような課題があり何をする必要があるのかを検討し、道筋を定め行動していくためのヒントを探ることを目的とした。講師による発表では、協力隊の活動に実際に役に立つ考え方やヒントがあり、地域で連携することの重要性や、これまで埋もれていて気づかなかった地域資源の見つけ方などを、講師の実体験を元に学ぶことができた。講師による発表後に行われたグループディスカッションでは、5つのグループに分かれ、「今年卒業したいこと」をテーマに議論を行った。参加者はみな課題解決に向けた様々な視点や能力を持っているため、議論の内容や進め方、まとめ方、意見の調整の仕方、発表の仕方など、様々な部分で参考になることが多かった。同研修会を実施している KKN は 2019 年 1 月より事務局が新体制となり、それを機に久保も KKN の事務局に入局し、事務局員として研修会などの企画・運営に携わることとなった。今後もこのような研修会の定期的な開催に向けて、他の事務局メンバーと共に活動を行っていく予定である。



地域おこし協力隊全国サミットでの展示・出店



同左サミットでのトークセッション



KKN 地域おこし協力隊研修会での集合写真



同左研修会のグループディスカッション

## 5. その他

- かわまちづくり検討会 天塩川フェノロジーカレンダー分科会に参加@天塩町社会福祉会館 2F 講習室 (1/19)
- 北海道留萌地域の移住セミナー「北海道移住への架け橋」への参加・発表@NPO ふるさと回帰支援センター (東京) (1/26)

以上